

18 年間の全身ステロイド使用後に皮膚状態が変化した成人アトピーの経過 (36 歳 男性)

症例 ID：001-30-OK3 | 記録日：2017 年 5 月 2 日

1. 診断・治療前経過

18 歳時に顔面から足先まで強いかゆみと浸出液が出て入院し、ステロイド注射と外用を開始しました。
その後 18 年間、全身にステロイド外用を続け、アンテベートは 2～3 日で 1 本、累積約 2200 本に及びました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	全身へのステロイド注射および外用を長期間行いました。
製品名	アンテベートほか。
強度	強い外用薬を含みます。
使用期間	18 年間、ほぼ毎日使用しました。
中止時期	2016 年 7 月 10 日です。
来院前／後	来院前に長期大量使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
18 歳時	発症・入院	全身の強いかゆみと浸出液で 1 週間入院しました。
その後 18 年間	長期使用	全身へステロイド外用をほぼ毎日続けました。
2016 年 7 月 10 日	中止・治療開始	ステロイドを中止し治療を開始しました。
治療 3 か月頃	検査値ピーク	TARC がピークとなり、その後、浸出液部位と丘疹が減りました。
治療 267 日頃	皮膚の変化	背部などは治療開始時より落ち着いた状態となりました。
治療 9 か月	記録時点	関節部に少量の浸出液、チクチクした痛みとかゆみが残っていました。

4. ピーク時期

ピークは、18 歳時の全身浸出症状と、ステロイド中止後 3 か月頃に TARC が高値となった時期です。

5. 困りごと

- ・ 18 年間、全身に外用しなければ生活できない状態が続きました。
- ・ 記録時点でも痛みが続いて強く掻き、浸出液が出ることがありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。

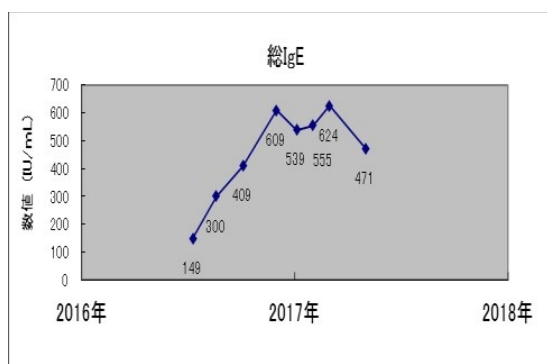


経過中の皮膚状態。

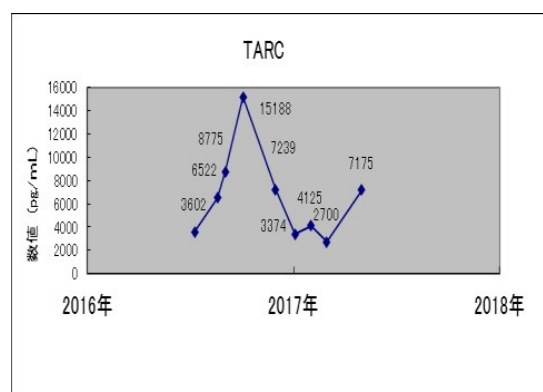


経過中の皮膚状態。

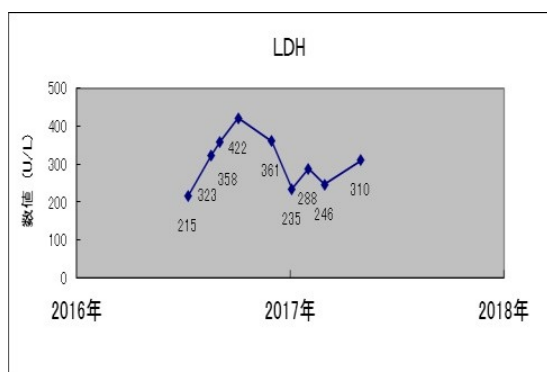
検査値の推移



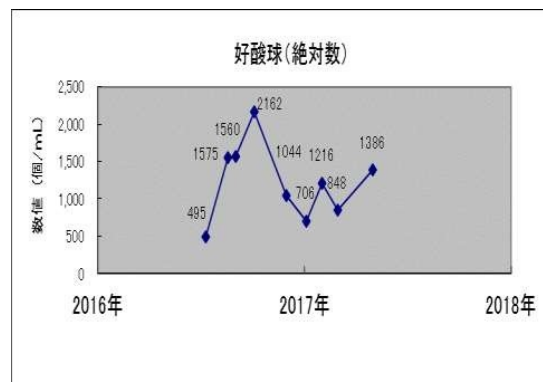
経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



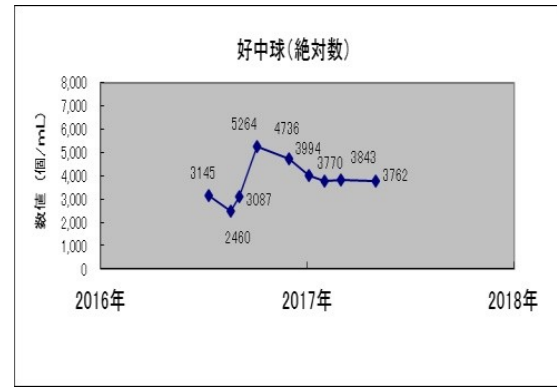
経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。

7. 経過のまとめ

治療9か月時点では、長期ステロイド使用中にはみられなかった元の皮膚に近い状態へ変化していました。

関節部の少量の浸出液と痛み、かゆみは残っていたものの、通院経過の中で、日常生活への負担が少しずつ減っていく変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
 症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。